

## 薬事情報センターに寄せられた県民・医療従事者からの相談事例 (2014年9月)

### 【適正使用】

Q: エリキュース™とプラビックス™を服用中。2剤を飲み始めて、鼻血がよく出るようになった(医師には伝えた)。プラビックス™は1日1回だが、エリキュース™のように1日2回に分けて服用して良いか?(県民)

A: プラビックス™は1日1回服用する。薬はそれぞれ、十分な効果が出るように飲み方が決まっているので、勝手に変更しない。出血しやすいリスクはあるので、日常生活では鼻をひどくかんで刺激しないようにするなど注意し、鼻血がひどい場合は医師に相談する。

Q: 10歳の子供が筋肉痛である。家にあるセルタッチ™を使用して良いか?(県民)

A: 他人に処方された薬を使用しない。セルタッチ™は成人に使用する薬剤で、小児に対する安全性は確立していない(使用経験が少ない)。

### 【相互作用防止】

Q: テグレート™を服用中。グレープフルーツジュースとの飲み合わせがあるらしいが、果実は大丈夫か?(県民)

A: 果肉や果皮でも影響がある。グレープフルーツの他、ブタンやパンペイユ、ハッサク等も影響があるので注意が必要である。

Q: イサロン™とチラーヂン™Sと一緒に服用して良いか?(県民)

A: イサロン™はアルミニウムを含有するため、チラーヂン™Sと一緒に服用するとチラーヂン™Sの吸収が遅延又は減少することがある。併用する場合には投与間隔をできる限りあける。

Q: 補中益気湯と相互作用に注意が必要な薬は?(歯科医師)

A: 補中益気湯はカンゾウを含有するため、他のカンゾウ含有製剤やグリチルリチン酸及びその塩を含有する製剤は、偽アルドステロン症(低カリウム血症、血圧上昇、浮腫等)を起こすおそれがあり、注意が必要である。

### 【アドヒアランス向上】

Q: 脊柱管狭窄症でリリカ™(75mg)を服用中。新聞に劇症肝炎の副作用が載っていたが、大丈夫か?(県民)

A: 肝機能障害や劇症肝炎の副作用の報告があり、新聞等で注意喚起された。定期的な肝機能検査が必要である。倦怠感、食欲不振、発熱、黄疸、吐き気・嘔吐、痒みなどが見られ、症状が持続したら、放置せずに医師や薬剤師に連絡する。

**【中毒】**

**Q：海苔の乾燥剤（生石灰）を朝食時にご飯に振り掛けて食べ、午後に来院した。処置法は？（医師）**

**A：生石灰（酸化カルシウム）は水と反応して、強アルカリ性の消石灰となり、直接触れた所に、びらん、浮腫、疼痛、嚥下困難、重篤な場合は食道狭窄を起こす。催吐は禁忌で、誤食直後であれば、牛乳、卵白等を飲ませる。胃洗浄は腐食が進んでいれば禁忌である。粘膜保護剤や下剤の投与、対症療法を行う。**